

VSCode で L^AT_EX

Knfujioka

2020 年 10 月 7 日

目次

1	セクション	1
1.1	サブセクション	1
2	ロジスティックシグモイド	2
3	行列演算の基礎	3
4	行列：演習問題	3
5	数列	4
6	表	5
6.1	罫線なしの表 (基本)	5

1 セクション

. . .

1.1 サブセクション

. . .

1.1.1 サブサブセクション

. . .

2 ロジスティックシグモイド

式 (1) の関数は標準シグモイド関数と呼ばれ、図 1 のような形である。!!! 2!!

$$\sigma(x) = \frac{1}{1 + \exp(-x)} \quad (1)$$

$$\alpha = \frac{1}{x} \quad (2)$$

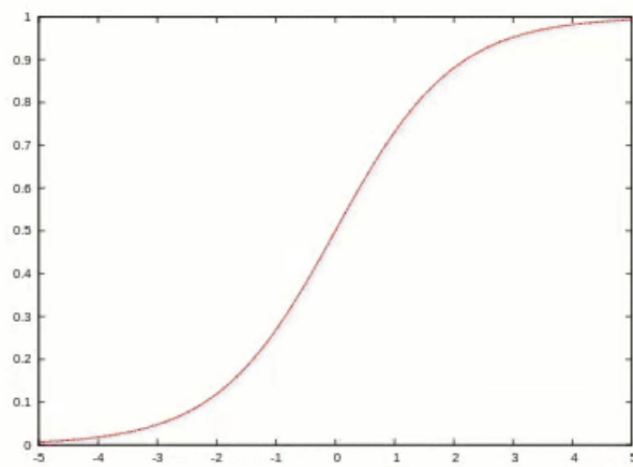


図 1 標準シグモイド関数

3 行列演算の基礎

$$\boldsymbol{w} = (\boldsymbol{X}^T \boldsymbol{X}^{-1}) \boldsymbol{X}^T \boldsymbol{y} \quad (3)$$

4 行列：演習問題

$$\boldsymbol{X} = \begin{bmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 1 & 2 & 5 \\ 1 & 3 & 4 \\ 1 & 5 & 9 \end{bmatrix}, \boldsymbol{y} = \begin{bmatrix} 1 \\ 5 \\ 6 \\ 8 \end{bmatrix}$$

() で書きたい場合。

右揃え、左揃え、中央の書式について

<http://www.latex-cmd.com/struct/align.html>

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ d & e & f \\ g & h & i \end{pmatrix}$$

行列式の書き方のフォーマット

<http://www.latex-cmd.com/equation/matrix.html>

5 数列

$$\sum_{x=15}^{49} \frac{f(x)}{g(x)} \quad (4)$$

- $f(x)$ ：調査対象において、年齢 x の女性が一年間に生んだ子供の数
- $g(x)$ ：調査対象における、年齢 x の女性の数

6 表

6.1 罫線なしの表 (基本)

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal
牛皿	並盛	300 円	250 kcal
牛皿	大盛	700 円	300 kcal
牛皿	特盛	1,000 円	350 kcal

・表に罫線を引く

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal
牛皿	並盛	300 円	250 kcal
牛皿	大盛	700 円	300 kcal
牛皿	特盛	1,000 円	350 kcal

- セルの結合
- 水平方向 (列) にまたがる表

メニュー		値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal
牛皿	並盛	300 円	250 kcal
牛皿	大盛	700 円	300 kcal
牛皿	特盛	1,000 円	350 kcal

- セルの結合
- 垂直方向 (行) にまたがる表

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
	大盛	1,000 円	800 kcal
	特盛	1,500 円	1,000 kcal
牛皿	並盛	300 円	250 kcal
	大盛	700 円	300 kcal
	特盛	1,000 円	350 kcal

- center 環境を使用した場合

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal

- \centering コマンドを使用した場合

入力通りの出力

<http://www.latex-cmd.com/struct/verb.html#verb>

メニュー	サイズ	値段	カロリー
牛丼	並盛	500 円	600 kcal
牛丼	大盛	1,000 円	800 kcal
牛丼	特盛	1,500 円	1,000 kcal